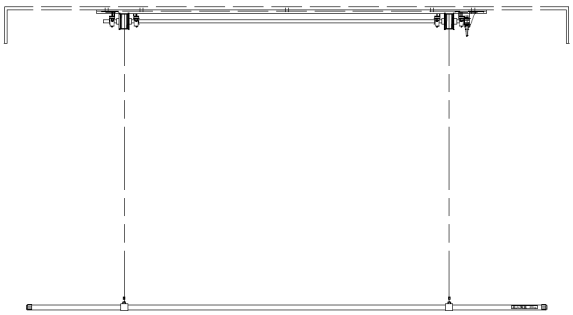
＊ご使用する方に必ずこの取扱説明書をお渡し下さい。

取扱説明書 手動昇降バトン　くるくるバトンL



このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、製品を正しく安全にご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。
万一、ご使用中にわからない事や不具合が生じた時きっとお役に立ちます。

安全上のご注意

□絵表示について　この「取扱説明書」では、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり周囲の家財に損害を与えたりする事があります。

□絵表示の例

	この記号はしてはいけない内容です。
	この記号は実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

必ず守る

引抜強度を確保できる場所に取り付けて下さい。

取付場所の強度が不十分な時、落下などで事故の原因になります。

＊ 十分な強度（最低引抜強度5倍以上）に補強してから取り付けて下さい。

禁止

異物を入れないで下さい。

液体や金属などが内部に入ると、故障の原因になります。

禁止

振動する場所に取り付けないで下さい。

部品などが破損し、故障や落下などで事故の原因になります。

禁止

塩素や腐食性ガスが発生する場所に設置しないで下さい。

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

禁止

油の付着しやすい場所に設置しないで下さい。

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

禁止

火気近くでは使用しないで下さい。

ストーブなど火気近くでは使用しないで下さい。
火災・火傷・故障の原因になります。

禁止

可燃性ガスの中で使用しないで下さい。

可燃性ガスに引火・爆発する恐れがあります。

禁止

高温・多湿の場所では使用しないで下さい。

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

⚠ 警告

製品を改造したり、部品交換をしないで下さい。

怪我・故障・事故などで事故の原因になります。

危険ですのでお子様に手を触れさせないで下さい。

事故に繋がる恐れがあります。周囲の安全を確認してご使用下さい。

バトン棒にぶら下がったり、不安定な状態で物を掛けたりしないで下さい。

⚠ 注意

バトンを昇降させる時、周囲に人や障害物がない事を確認してから操作して下さい。

廃棄は専門業者に依頼して下さい。燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災・火傷の原因になります。

製品の取り付け・取り外しは、販売店または専門の工事業者にご依頼下さい。

看板等をバトンに吊るす時には、バトンを絶対に持ち上げないで下さい。

製品を安全に使用するために、1年に1回はP.12の「安全チェックシート」に基づき、自主点検を行って下さい。

製品には寿命があります。設置して年月が経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をして下さい。

使用しない場合でも。1ヶ月に1度、動作確認を行って下さい。

ワイヤーに緩みがある状態での昇降はしないで下さい。故障の原因になります。

バトン棒の長さに対し、均等に荷重をかけて下さい。片寄った荷重をかけると故障・落下の原因になります。

積載荷重以上の物を吊り下げないで下さい。

作業を行う場合は、十分な照度を確保して下さい。

吊物が揺れている状態でバトンを昇降させないで下さい。

使用場所・取付場所・保管について

直射日光の当たる場所には置かないで下さい。
ホコリ・高温多湿の場所では使用しないで下さい。
風が強い時は、製品を使用しないか窓を閉めてご使用下さい。

◆免責について

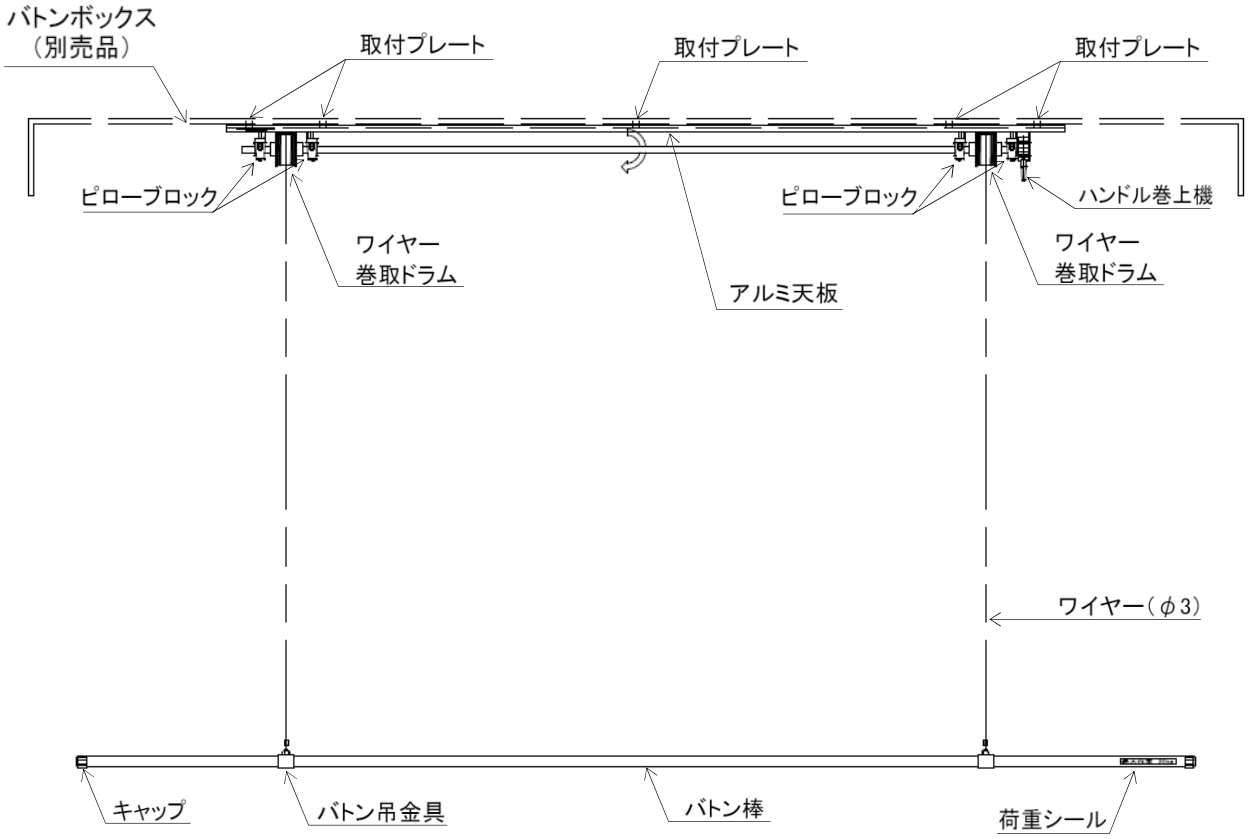
弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

① 本取扱説明書記載の内容に反した工事、使用により発生した損害・被害
② 本製品の不良・不具合以外の事由（火災・自然災害・設置工事の不備・建屋側取付面の不良などを含む）による損害・被害
③ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用できない事で被る不便・損害・被害

製品の取付手順

＊製品が間違っていないか、付属品がきちんと揃っているかお確かめ下さい。

本製品は工場出荷時に
調整済みです。
分解せずに取り付けて下さい。



バトン棒	吊点数	吊下荷重（kg）	取付プレート	標準ｽﾄﾛｰｸ（m）
φ38　BL=3000	2	20	5ヶ所	4.0
φ38　BL=4000				
φ38　BL=5000	3	15	6ヶ所	

付属品	タッピングネジ 4×40	ワイヤースリーブ	バトン吊金具※
BL=3000	20個	2個	-
BL=4000			
BL=5000	24個	3個	1個

※バトン棒分割の場合

バトン棒	1本
ハンドル	1本

バトン棒（分割の場合）

【バトン棒】

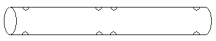
〈取付方法〉

① 付属品のバトン吊金具を通して下さい。

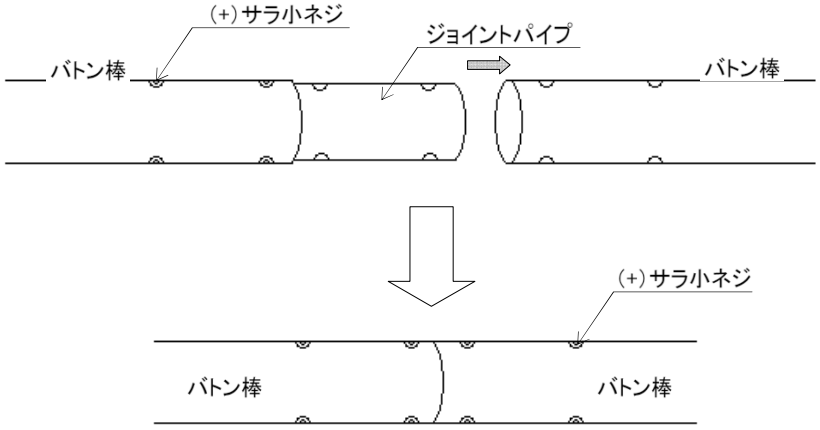
② ジョイントパイプをバトン棒に差し込みます。

③ ジョイントパイプの穴とバトン棒の穴を合わせ
（+）サラ小ネジでしめて固定します。（4ヶ所）

④ バトン吊金具を吊りピッチにあわせ固定させて下さい。

	ジョイントパイプ L=300	(+) サラ小ネジ M4×8
付属品		
1ｼﾞｮｲﾝﾄ	1本	8個

※ジョイントパイプは、片側に固定されています。



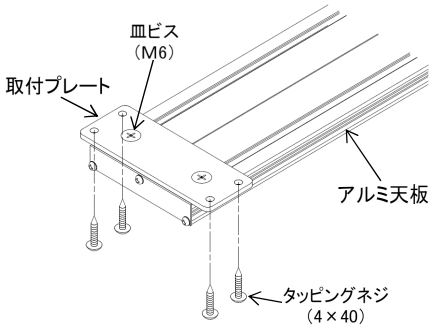
取付プレートの設置

● 取付面に、取付プレートを付属のタッピングネジ（4×40）でしっかり固定して下さい。

注意 ネジを締め付ける前に取付面が補強されているか確認して下さい。
落下して事故の原因になります。

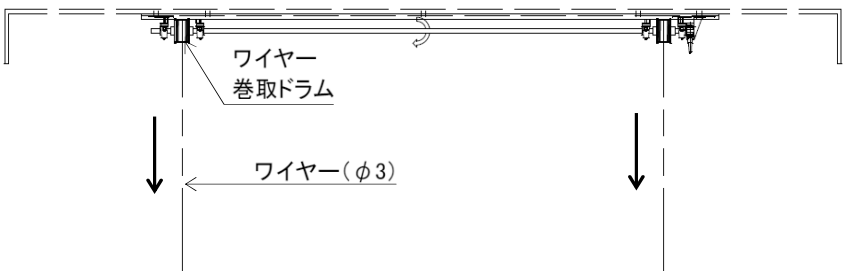
取付プレートは既にセットされていますが、補強されている取付面が
不適当な場所では、皿ビス（M6）を緩めて取付プレートをスライドさせて
任意の位置で締め付けて下さい。（※ 一部取付られない部分があります）

注意 取付プレートの位置を変更する場合、最初に取り付けされている
位置より左右30mm以内の範囲で位置を変更して下さい。

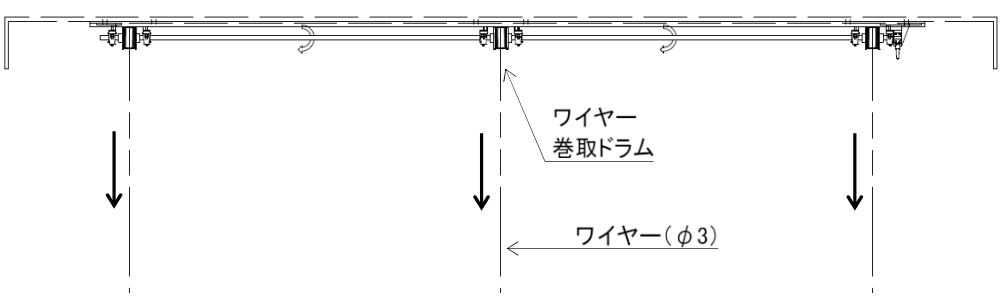


※ 付属のハンドルでワイヤーを必要な長さほどいて下さい。（ハンドルの操作方法8ページ参照）

〈2点吊り〉

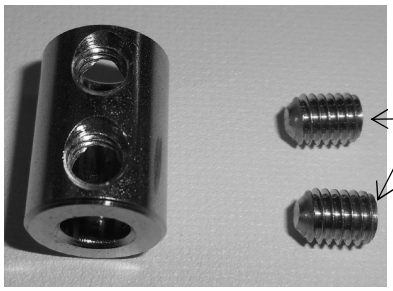


〈3点吊り〉



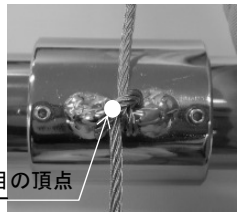
バトン棒の取付方法

（1） ワイヤースリーブの六角穴付止めネジを外します。
（六角レンチ（呼び2.5）（呼び3）を用意して下さい。）

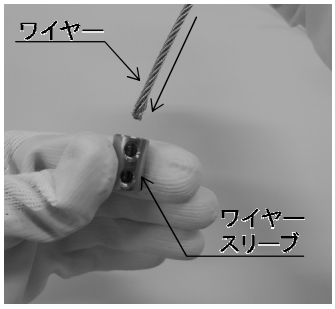


外した
六角穴付止めネジは
なくさないように
気を付けて下さい。

※ ワイヤーに対して床面からメジャーなどを使用し、同じ数値の所に結び目の頂点となる位置を示す目印をマジックなどで入れると後に水平の調整がしやすくなります。

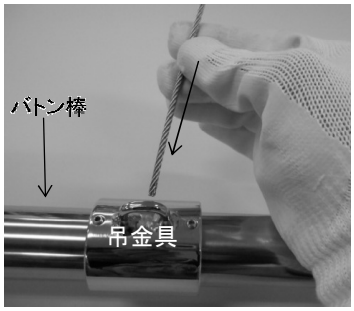


（2） ワイヤーの先端を付属品のワイヤースリーブに通します。

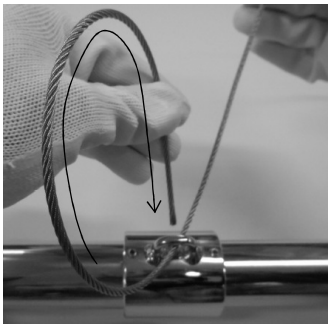


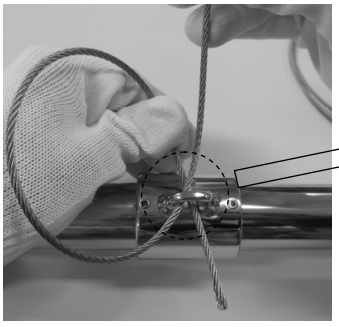
ワイヤースリーブは
マスキングテープ等で
落ちてこないよう
固定すると作業が
しやすいです。

（3） ワイヤーの先端を背面側から吊金具の上部にある穴に通して下さい。

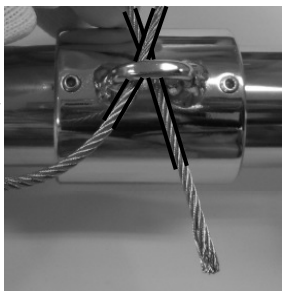


（4） ワイヤーの先端を再度、吊金具の穴に通し円を作ります。

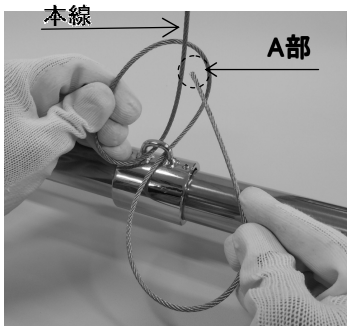


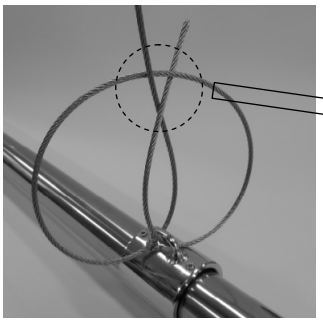


【拡大】



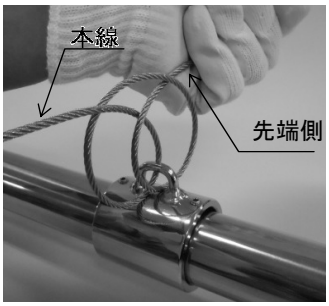
（5） ワイヤーの先端を本線の右側よりＡ部に通します。





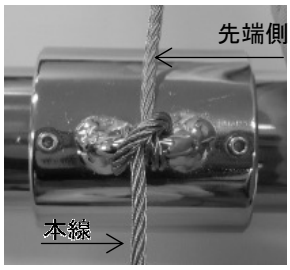
【拡大】

（6） 本線と先端側のワイヤーを引っ張りワイヤーを締め付けます。

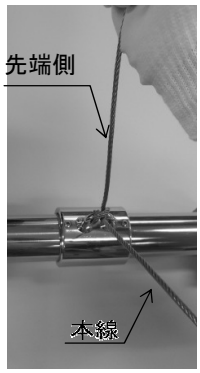


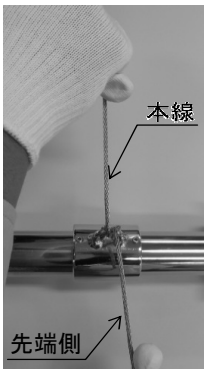
先端側のワイヤーは
200～300mm位
残して下さい。

【上面拡大】



（7） ワイヤーを締め付けた後、本線と先端側ワイヤーを前後反対にし癖付けをします。



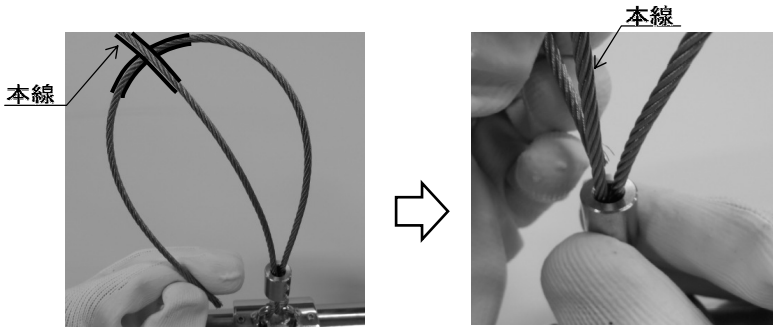


（8） ワイヤーを癖付けをした後、ワイヤーの先端をワイヤースリーブの下から通します。

【正面】

バトンの水平をご確認下さい。
水平が出ていない場合は一度ワイヤーを
緩め、水平になった位置で再度ワイヤーを
締め付けて下さい。
基準とする動かさない吊元はワイヤースリ
ーブを結び目まで下げておくとワイヤーが
解けにくくなります。

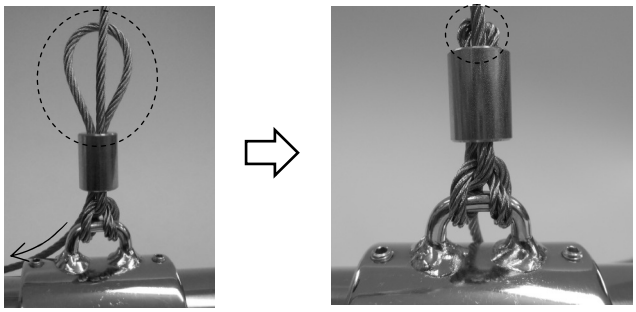
(9) ワイヤーの先端を、ワイヤースリーブの上から通します。
その際、先端側のワイヤーは本線の後ろ（背面）に通して下さい。



【正面拡大】

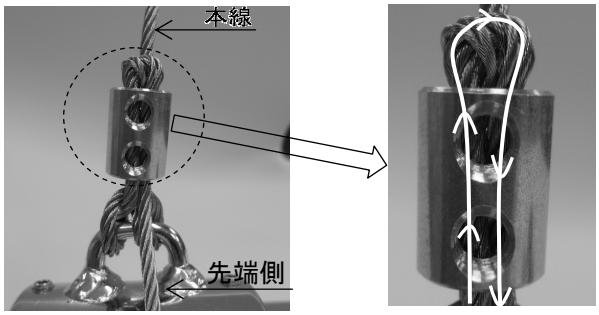
(10) ワイヤーの円が小さくなるよう、ワイヤーの先端を引っ張ります。

【正面】



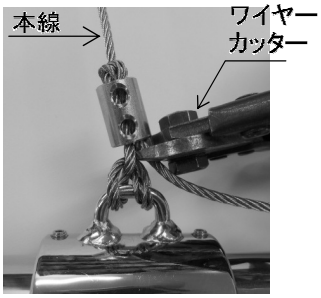
(11) ワイヤースリーブの中に入っているワイヤーは背面から見て、写真のようにして下さい。

【背面】



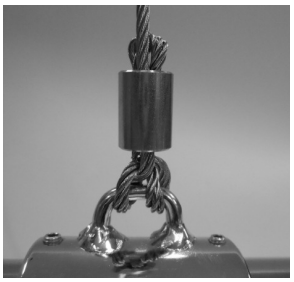
(12) 先端の余ったワイヤーはワイヤースリーブの下部ギリギリの箇所で切断して下さい。

【背面】



(13) 切断後、ワイヤーの先端部ができるだけ見えないようにワイヤースリーブをさげて下さい。

【正面】



【背面】

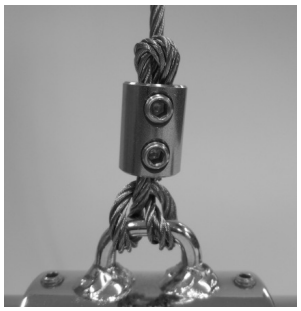
（14） 六角レンチを使用し、ワイヤースリーブの穴を六角穴付止めネジで2ヶ所を締め付けます。
その際、本線には当たらないように締め付けて下さい。

【背面】

完成

【正面】

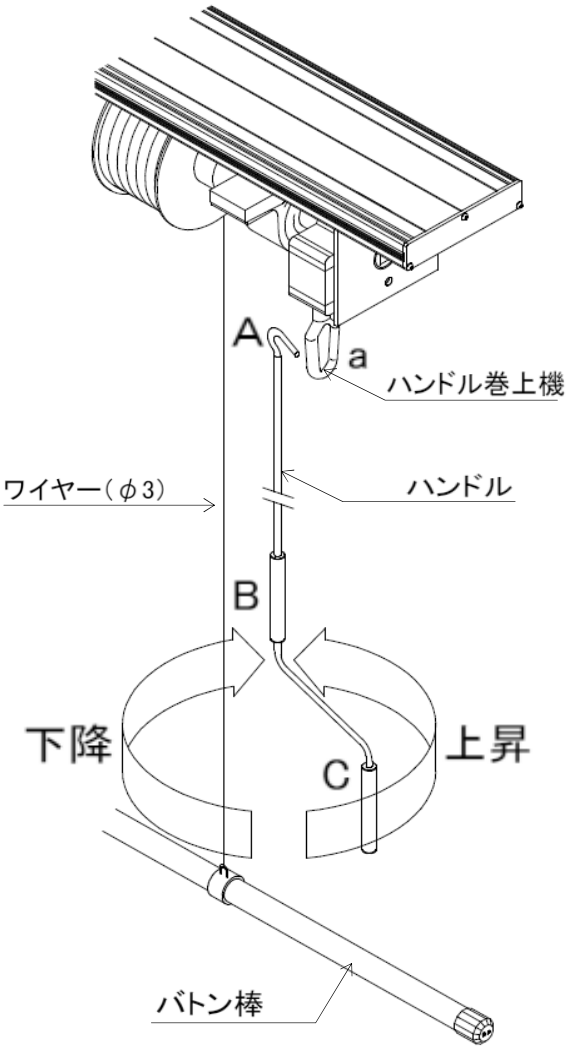
【背面】



バトンの操作方法

① ハンドルの先端部Ａをハンドル巻上機のフック部aに引っ掛けて下さい。

② ハンドルのＢ部を軸にしてＣ部を回して下さい。



注意

下降時ドラムのワイヤーは余巻（２～３巻）を必ず残す事。

ワイヤーが全て出された状態で、さらに下降方向にハンドルを回すとワイヤーが逆に巻き取られ、故障や事故の原因となります。

注意

上降時ハンドル巻上機の少し手前でバトン棒を止める事。

ハンドルを巻きすぎるとワイヤースリーブも一緒に巻き取られ、巻取ドラムやワイヤーが破損し、バトン棒が落下する恐れがあります。

＊＊＊　MEMO　＊＊＊

＊＊＊　MEMO　＊＊＊

＊＊＊　MEMO　＊＊＊

安全チェックシート

より安全にお使いいただくために

お客様へ

製品は経年劣化します。毎年1回の自主点検をお勧め致します。
（空白には気づいた事などを記載して下さい。）

	安全点検項目	点検結果									
		日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /
1	ワイヤーが緩んでいない										
2	ワイヤーによれ、破断がない										
3	異音がしない（巻取ドラム、ハンドル巻上機）										
4	製品にガタつきがない										
5	取付金具がきちんとついている										
6											
7											
8											
9											
10											

正常：✓　異常：×

上記項目以外でも不具合があれば、販売店または専門の工事業者にご相談下さい。

設　置　日：　　シリアルNo.　：

（ハンドル巻上機にあります）

販　売　店：　　連絡先　：

株式会社シネマ工房

http://www.cinema-kobo.com
E-mail:info@cinema-kobo.com

この商品について万一故障、
又は不具合がありましたら、
お買い上げの販売店又は弊社まで
ご連絡下さい。

● 本　社　〒614-8175　京都府八幡市上津屋石ノ塔70（上津屋工業団地内）TEL：075-971-0310　FAX：075-971-0320
● 東京営業所　〒171-0022　東京都豊島区南池袋3丁目18番37号　WAVEビル1F TEL：03-5911-7377　FAX：03-5911-7388
● 福岡営業所　〒812-0893　福岡市博多区那珂6丁目22-19　那珂fineビル TEL：092-433-9310　FAX：092-433-9320
● 札幌営業所　〒003-0029　北海道札幌市白石区平和通2丁目北9-8 TEL：011-846-0952　FAX：011-846-0955